

■ アダプター品名 ○○ - □□
 ↓ ↓
 レンズ側マウント記号 ボディ側マウント記号

レンズ側マウント記号

LM-□□ : ライカ Mマウントレンズ用
L39-□□ : ライカ L(スクリュー)マウントレンズ用
FD-□□ : キヤノン FDレンズ用
NF-□□ : ニコン Fマウントレンズ用 (Gタイプレンズは使用不可)
OM-□□ : オリンパス OMマウントレンズ用
LR-□□ : ライカ Rマウントレンズ用
CY-□□ : コンタックス・ヤシカ マウントレンズ用
PK-□□ : ペンタックス Kマウントレンズ用 (DAタイプレンズは使用不可)
M42-□□ : M42マウントレンズ用
EXA・TOP-□□ : エギザクタマウントレンズ用 (トプコンレンズも使用可能)
MD-□□ : ミノルタ MDマウントレンズ用
KAR-□□ : コニカ ARマウントレンズ用
SC-□□.0 : コンタックスC ニコンS 外爪レンズ用
NFG-□□ : ニコン Fマウント(Gタイプ)レンズ用
(電磁絞り機構を搭載したEタイプレンズには対応していません)
PDA-□□ : ペンタックス Kマウント(DAタイプ)レンズ用
HS-□□ : ハッセルブラッド(Vシステム)レンズ用

ボディ側マウント記号

○○-SαE : ソニーEマウントボディ用
○○-FX : フジXマウントボディ用
○○-M4/3 : マイクロフォーサーズボディ用
○○-EFM : キヤノンEFMマウントボディ用
○○-NZ : ニコンZマウントボディ用
○○-EOSR : キヤノンRFマウントボディ用
○○-LA : ライカLマウントボディ用

RAYQUAL

ミラーレスカメラ用 マウントアダプター取扱説明書

このたびは、RAYQUAL(レイクオール)ブランドのマウントアダプターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

このマウントアダプターは異なるマウントのレンズをミラーレスカメラに取り付けるためのアダプターです。対応レンズ、対応ボディはアダプターの品名で確認してください。

APS-Cサイズのセンサーを搭載したボディではセンサーサイズの関係で使用するレンズの焦点距離は、約1.5倍換算になります。
(焦点距離 50mm レンズを使用した場合は 約 75mm レンズ相当の画角になります)

■ ご使用前の準備

- ◎ カメラ本体の「レンズなしリリース」設定を確認します。
「レンズなしリリース」設定項目があるカメラの場合には、「レンズなしリリース」を「ON」に設定してください。(設定方法はカメラの取扱説明書を参照ください)
「ON」にしないとアダプター使用時にシャッターがきけません。

※「レンズなしリリース」設定がないカメラの場合、上記設定は不要です。

■ 注意事項

- ◎ 万一のレンズ脱落を予測し高所など下に人のいる可能性のある場所での使用は避けてください。
- ◎ 堅牢な設計となっておりますが限られたスペース内に精密機構を組み込んでいますので、取り付け取り外しなど使用には十分注意して下さい。
- ◎ 望遠レンズなど重量級レンズと併用する場合はボディに無理な力が加わらないように注意が必要です。特に、ミラーレスデジタルカメラのボディは大きなレンズの取り付けを想定しておりませんので、マウントに大きな力が加わるとカメラ/レンズ/アダプターを破損する恐れがあります。
重量級レンズとの使用は十分注意してください。
- ◎ 取り扱い時、特に脱着時にロック爪やマウントなどの鋭角部で手を傷つけないよう注意してください。
- ◎ レンズロックボタンを押しながらピントリングや絞りリングを操作すると、意図せずにレンズが回転し、レンズがアダプターから外れる可能性がありますのでご注意ください。
- ◎ アダプターはすべての互換レンズの取り付けを保証するものではありません、無理な取り付けはしないでください。
- ◎ 干渉のあるレンズを取り付けた場合のカメラ/レンズ/アダプターの破損、故障に対する責任は負いかねます、無理な取り付けはしないでください。
- ◎ お使いのカメラ及びレンズの取扱説明書もお読みください。
- ◎ レンズが外れなくなった場合は、無理に取り外さず、弊社または販売店へご相談ください。

商品の仕様および外観形状は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

■ アダプターとレンズの取り付け方法

取り付け取り外しはレンズ側、ボディ側どちらから行っても構いません、アダプターをボディに残したままレンズ交換が可能です。

NF-□□、OM-□□、LR-□□、CY-□□、PK-□□、EXA・TOP-□□、MD-□□、KAR-□□、SC-□□、O、NFG-□□、PDA-□□、HS-□□

アダプターの指標とレンズの指標を合わせて、軽く押し当てながらロックするまで回してください。

※ NFG-□□、PDA-□□の絞り操作リングはアダプターとレンズの取り付け時、どの位置でも構いません。

※ SC-□□、O は外爪レンズ専用です、ページ3『SC-□□、O について』も合わせてお読みください。

LM-□□ L-Mリング(別売)を併用してLeicaスクリーマウントレンズも使用可能です。

アダプターのロックボタンに付いている赤●指標とレンズの指標を合わせて、軽く押し当てながらロックするまでレンズを回します。

※取り付けるレンズの後ろ玉が大きく出ているレンズは使用できない場合があります。

スーパーアングュロは使用できません。沈胴式レンズは沈胴させないで使用してください。

L39-□□、M42-□□

取り付け指標はありません、回転が止まるまでアダプター、レンズを回転させて取り付けてください。

レンズの指標が真上にならない場合があります(レンズ個体差による)、指標を真上にしようとして必要以上にアダプターとレンズを締めすぎないでください。

L39-□□の場合、スーパーアングュロは使用できません、沈胴式レンズは沈胴させないで使用ください。

M42-□□では絞り連動ピン付きのレンズは、ピンが押し込まれた状態で取りつきます。

FD-□□ FDレンズおよびNewFDレンズともに使用可能です。

FDレンズを使用するには取り付け前にレンズ裏面の絞りレバーのロックを行ってください。

レンズ指標を上にして、カメラ取り付け面のマウント右下側にあるレバーを反時計方向にカッチとロックが掛かるまで押し上げてください。

この状態でアダプターの▲指標とレンズの指標を合わせて取り付け、締め付け用リングを締めてください。

NewFD レンズの取り付け時は、まずアダプターの△位置とレンズの赤マークを合わせてからレンズを軽く押しつけながら矢印に従い▲の位置まで移動します、この位置でレンズがマウントに沈み込みます。レンズがマウント面に十分密着している事を確認し反対方向にロックが掛かるまでレンズを回します。

■ アダプターとレンズの取り外し方法

NF-□□、LM-□□、LR-□□、PK-□□、NFG-□□、PDA-□□

アダプター外周にあるロックボタンをレンズとは逆方向へ押しながら、取り付け時と逆方向に回します。

(LM-□□はアダプターがボディに付いている状態でレンズを外す方がやり易いです)

CY-□□、EXA・TOP-□□、MD-□□、KAR-□□、HS-□□

アダプター外周にあるロックボタンをアダプター中心部へ押しながら、取り付け時と逆方向に回します。

L39-□□、M42-□□

アダプター、レンズを取り付け時と逆方向に回します。

FD-□□、OM-□□、SC-□□、O

レンズ本体にあるロックボタンを押しながら、取り付け時と逆方向に回します。

(FDレンズは締め付け用リングを緩めてアダプターとレンズを取り外してください)

■ アダプターとカメラボディの取り付け 取り外し方法

アダプターの指標とカメラボディの指標を合わせて、軽く押し当てながらロックするまで回します。取り外しは、カメラボディのレンズ着脱ボタンを押しながら取り付け時と逆方向に回します。

■ 撮影

◎カメラボディのモード設定はAモード(絞り優先)またはMモード(マニュアル)で使います。

◎ピント合わせはマニュアルで行います。(オートフォーカスは働きます)

◎希望の絞り値にセットした後、シャッターを押します。(Mモードの場合はシャッタースピードもセット)

測光は絞り込み測光(絞り込んだ状態での測光)となります、ボディに絞り値の情報は表示されません。

※カメラのボディ内手ぶれ防止機能を使用する場合、レンズの焦点距離をカメラに設定する必要があります、レンズ交換の際にも忘れずに設定してください。

(設定方法はカメラの取扱説明書を参照ください)

※レンズによりスポット測光、部分測光などモードの違いで露出の傾向が変わる場合があります。

絞りリング付きアダプター (NFG-□□、PDA-□□)

絞り操作リングがないレンズに対応したアダプターです。

アダプターの絞りリング指標はOマークの位置が絞りの開放位置になります。

数字は開放値からの絞りの段数です、1クリックは正確に1段絞りにならない場合があります、目安としてください。

(開放F1.4のレンズを使用している場合、OマークでF1.4 指標1でF2 指標2でF2.8 となります)

※レンズにより絞りの段数が違います。絞り指標の5や6段程度でそれ以上絞りリングを動かしても、絞り羽根が動かない場合があります。(絞りリング指標の5、6段目で最小絞りになるレンズがあります)

※絞りリング付きアダプターを使用して絞りリングのあるレンズを使用する場合、アダプターの絞りリングを一番絞った状態(アダプターの絞りリングを7)にするとレンズ側で絞り操作が可能になります。

絞りリングが2つになりますので使用には慣れが必要です。

※NFG-□□ は電磁絞り機構を搭載した AF-S NIKKOR 300mm f/4E PF ED VR などのEタイプレンズには対応していません。(絞り操作が出来ません)

SC-□□、O について

※ニコンSおよびコンタックスCカメラはマウント部が内爪と外爪をもった規格のカメラです。

このアダプターは外爪レンズ専用のタイプです。(内爪レンズには対応していません)

※ボディとレンズの組み合わせによっては取り付け出来ない場合があります。

レンズを取り付ける場合は十分注意し無理な力をかけないようにしてください。

・後ろ玉が大きく出っ張っているレンズはカメラマウント内の壁と干渉し取付けできません。

(例)Biogon21mm/F4.5、Biogon 35mm/F2.8、JUPITER-12 35mm/F2.8など

・NIKKOR25mm/F4はピント調整をボディ側で行うレンズのため、レンズ側でピント調整できません。

■ お問合せ先